

2020年10月28日

各位

埼玉県主催の『埼玉県SDGs官民連携プラットフォーム第1回シンポジウム』（2020年10月23日）に参加しましたので以下の通り報告いたします。尚、当NPOよりは平田さん、井上が参加いたしました。

井上

埼玉県SDGs官民連携プラットフォーム  
第1回シンポジウム次第

令和2年10月23日（金）14:30～16:45

さいたま市文化センター 大ホール

14:30 開会

大野元裕 知事挨拶

<発言要旨>

- ・コロナ禍の中多くの参加への謝意表明
- ・日本一暮らしやすい埼玉県を目指し誰一人取り残さない社会の実現
- ・SDGsを推進し、そのためのステークホルダー（行政、経済団体、業界団体、企業、NPO団体、大学、研究機関、金融機関、メディア等）の協力が不可欠
- ・そのため官民連携を行い、全てのステークホルダーの意識調整、交流する場として活用
- ・SDGsの達成は全世界で12兆ドルの経済効果があると言われている。
- ・渋沢栄一は「一人がいかに大富豪となっても、そのために社会の多数が貧困に陥るようでは、その幸福は継続されない」と言っており、SDGsとも一致している。
- ・SDGs官民連携プラットフォームはOne TeamとしてSDGs達成できるよう宜しくお願ひしたい。

田村琢美 埼玉県議会議長挨拶

- ・SDGs官民連携プラットフォームのキックオフを祝う
- ・SDGsは17分野において2030年までに達成を目標としている。
- ・官民連携により共に行動していく理念が広がっていくと思う。
- ・本日一つでも多くの事を持ち帰り、今後の研鑽に役立てて欲しい。

清水勇人 さいたま市長挨拶

- ・浦和・大宮・与野（その後岩槻編入）が合併して20周年、132万人の都市となった。
- ・令和元年にSDGs未来都市にさいたま市は指定され、SDGsに取り組む。

<提案タイトル>

SDGs国際未来都市・さいたま2030モデルプロジェクト

～誰もが住んでいる事を誇りに思える都市へ～

- ・県市町村だけではSDGs達成は難しく、企業、団体、NPO、大学、その他と連携し

One Team で取り組み連携していきたい

- ・官民連携プラットフォーム設立はSDG s 達成の第一歩であり、一緒に頑張っていきたいと思います。

#### 運営協議会委員紹介

- ・さいたま市長 清水勇人
- ・埼玉経済同友会代表幹事 戸所邦弘
- ・埼玉大学学長 坂井貴文
- ・埼玉りそな銀行代表取締役 福岡聡
- ・武蔵野銀行頭取 長堀和正
- ・埼玉産業振興公社理事長 神田文男
- ・いきいき埼玉理事長 永沢映

#### 埼玉版SDG s 推進宣言（添付メール参照の事）

- ・埼玉経済同友会戸所代表幹事が朗読、出席者全員で拍手
- ・「誰一人取り残さない」SDG s 理念のもと、「持続可能な発展・成長する社会」を目指し、埼玉県が「経済、社会、環境」の側面で調和する社会となるよう諸課題の解決に取り組む。そのため埼玉県SDG s 官民連携プラットフォームを通じて、多様な主体が、共に手をつなぎ、「ワンチーム埼玉」で推進する事により未来の責任を果たすことを宣言する。

#### 14:40 基調講演 渋沢 健 氏

（渋沢栄一の玄孫、コモンズ投信会長/シブ サワ・アント<sup>®</sup>・カンパニー代表取締役/渋沢栄一記念財団理事）  
「論語と算盤」とSDG s

##### 1. 企業の社会的責任

- ① ノーベル賞受賞ミルトン・フリードマン（自由資本主義の父）の「企業の社会的責任」論  
“ビジネスの社会的責任は利潤を増大させることの一つしかない。”
- ② 宇沢弘文（資本主義と戦った男）の「社会的共通資本」論  
“すべての人々が、豊かな経済生活を営み、すぐれた文化を展開し、人間的に魅力ある社会の安定的な維持を可能にする自然環境と社会装置の事で、これを社会共通の財産とする。”
- ③ 渋沢栄一（日本の資本主義の父）の考えは日本の価値を高めるもので、どちらかというとなりて宇沢弘文の考えと近い。

##### 2. ステークホルダー資本主義と合本主義

- ① Stakeholder capitalism と ESG (Environment , Social and Governance)
- ② 合本主義 (Stakeholders capitalism) :  
銀行は一滴一滴のしずくが集まり大きな川（大河）になるようなもの。銀行に集まって来ない金は折角人を利し国を富ませる能力があってもその効果は表れない。  
(1873年第一国立銀行創設時)

### 3. 「と」の力 サステナビリティ インクルージョン

#### ① 論語と算盤：『合理的の経営』

“経営者一人が大富豪になっても、そのために多数が貧困になるのではその幸福は継続されない”

#### ② 論語と算盤：『論語と算盤は甚だ遠くして甚だ近いもの』

“正しい道理の富でなければその富は完全に永続する事は出来ない。したがって論語と算盤というかけ離れたものを一致させることが極めて大切な務である。”

これは持続可能性と言え、未来に向かう車の両輪となる。

みんなが平等ではない⇒意欲のある人、意欲のない人は平等でない。但し機会は平等である。

#### ③ 「と」の力 (and)：矛盾しているものの並立している概念

「か」の力 (or)：存在しているものの力のみの比較に過ぎない

新しいクリエイションのために必要な概念。

例、カレーうどん：カレーはインド⇒イギリス⇒日本、うどんと汁を混ぜて完成。

その結果日本にはB級グルメから高級まである。

### 4. SDG s の5つのPと5つの原則

5つのP：People, Prosperity, Planet, Peace, Partnership (SDG s のOriginal概念)

5つの原則：

普遍性、

包括性(社外)、

参画性(社内：女性、若年層)、

統合性(他社とのコラボ、自社のみでは不可)、

透明性(Governance,対話：コミュニケーション)

※2016年官製SDG s作成時に官僚の賢い人達が企業を取り組むために作った原則

### 5. アフター・コロナの常識とは何か

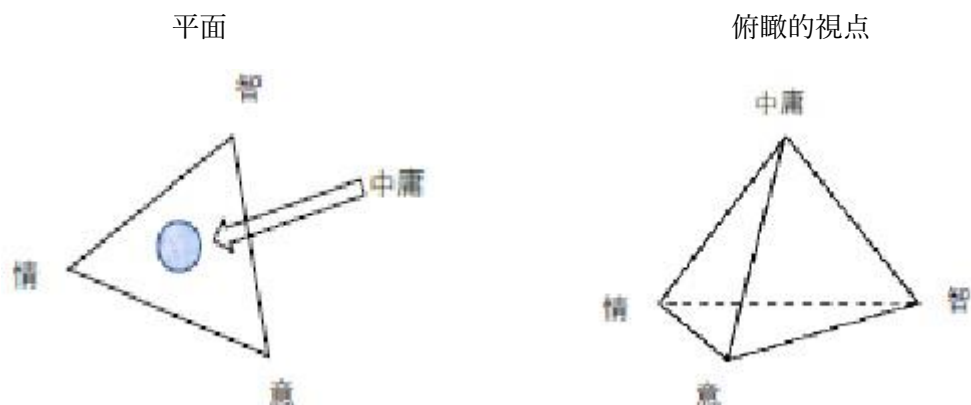
論語と算盤：『常識とはいかなるものか』

“『智』、『情』、『意』の3者が権衡を保ち平等に発達したものが完全の常識だと考える”

参考：『Good to Great』(ビジョナリー・カンパニー②飛躍の法則) Jim Collins 著

『智(Wisdom)』、『情(Emotion)』、『意(Will)』の中庸(俯瞰力)は次のイメージ。

SDG sも同じで官と民を平面ではなく俯瞰的視点で見ると。



6. 良いお金の使い方 ～ME から WE へ

日本はタンス預金に 50 兆円、銀行預金含めると 1000 兆円⇒アメリカと同じ額  
(アメリカ：人口 2.3 倍、経済規模 4 倍)

- |       |   |    |
|-------|---|----|
| ① 使う  | } | ME |
| ② 貯める |   |    |
| ③ 寄付  | } | WE |
| ④ 投資  |   |    |

7. インパクト投資 ～現代的「論語と算盤」

投資 = In + Vest (胸に入れる)

SDG s 投資 = インパクト投資 (社会的インパクトと経済的リターンの両立)

8. 時代の節目を迎える日本

15:50 事例発表 1

・一般財団法人 埼玉県建設業協会会長 伊田登喜三郎、副会長兼 SDG s 委員長 中原誠

『SDG s の取り組み』

- ① SDG s とは？の理解
- ② 協会 SDGS⇒(会員企業との連携、会員企業への広がり) ⇒会員企業 SDG s
- ③ SDG s に対するシンボルとなる新たな事業
  - ・協会・会員企業に負荷をかけない
  - ・建設産業を関連付け社会に発信
  - ・イメージしやすいゴール
- ④ 災害用備蓄食料に酔う循環スキーム (台風損害に協会として実施した実績踏まえて)

事例発表 2

・株式会社クリタエイムデリカ 代表取締役社長 栗田美和子

『SDG s と多様性の共生な会社づくり』

- ① 社内活動
  - エコライフ委員会 (月一回)
  - ・クリーンスマイル (地域清掃活動)、廃棄物リサイクル意識改善、エコ検定取得奨励
  - エコアクション 2.1 継続取得
- ② SDG s 取り組みについて会社にて既に実施している事の洗い出し  
7時半から8時に従業員が自主的に実施、今までできている事、取り掛かっている事をチェック
- ③ 地域の多様な特性のある子供とその家族に無料の場所提供

事例発表 3

・埼玉グリーン購入ネットワーク 会長 星野弘志

『埼玉 GPN の SDG s の取組』

- ① 地球の限界 (プラネタリー・バウンダリー) を超えつつある環境問題
- ② 生物多様性 (種の絶滅) と気候変動

- ③ 人類の叡智が結実した 2015 年（SDG s とパリ協定）
- ④ グリーン購入ネットワーク（GPN：Green Purchasing Network）1996 年設立
- ⑤ GPN が SDG s に取り組むスタンス
- ⑥ SDG s 普及啓発の取り組み
  - ・セミナー、カードゲーム体験会、先進事例見学会
  - ・SDG s エコフォーラム in 埼玉（環境フォーラムを発展的継承）、少年少女国連大使
- ⑦ SDG s 普及のための取組を通してパートナーシップが広がる。

#### 埼玉県からのお知らせ

##### ・埼玉県 DSG s パートナー登録制度について

- ① 埼玉版 SDG s の推進（全県的な推進体制構築⇒プレイヤー増⇒『ワンチーム埼玉』）
- ② 官民連携の場 埼玉県 SDG s 官民連携プラットフォーム
  - ・会員構成：経済団体、業界団体、企業、NPO、大学、金融機関、行政
  - ・主な活動：会員名簿送付、会員向けメルマガ発行、シンポジウム開催、分科会設置
  - ・会員メリット：SDG s 意識啓発、会員同士情報交換、会員相互の交流・連携
  - ・自ら取り組む企業等のさらなる後押し

##### ③ 登録制度

SDG s を自ら実践し、公表する企業・団体等を『埼玉県 SDG s パートナー』として登録

・スケジュール

詳細公開：2020 年 10 月 29 日（木）

募集開始：2020 年 11 月 2 日（水）電子申請による受付開始

・登録制度の概要

対象：県内に事業所等を有し、事業活動を行う企業・団体等

要件 1：環境・社会・経済の三側面で取組及び指標を設定

要件 2：SDG s 達成に向け実施する 6 分野（人権・労働、環境、公正な事業慣行、製品・サービス、社会的貢献・地域貢献、組織体制）の基本的取組事項の内容を記載

期間・報告：3 年とし（更新可）登録日から 1 年経過毎に進捗を報告

・登録企業・団体等のメリット

登録証の交付、県 HP により取組等を広く発信、その他先行自治体を参考に追加予定

16:45 閉会

以上